

第2回 学校評議員会・学校関係者評価委員会報告

2月3日（火）に学校評議員会・学校関係者評価委員会を開催しました。学校からは、児童の様子を交えながら、学校評価アンケート結果や学力調査結果等の説明をさせていただきました。そして、評議員および関係者の皆様と以下のような意見の交換をいたしました。

学力調査について

- ◆前期の全国・県学力調査でも良かったが、今回の結果も良い。職員のマンツーマンの指導が良いからだと思う。
- ⇒マンツーマンの指導が十分できるのは、小規模校の強みである。今後も一人一人に目を向けて、個に応じた指導をしていきたい。

いじめや児童の問題などへの指導・対応について

- ◆児童アンケート・教職員アンケートでは、適切に対応していることがわかる。保護者アンケートが若干低いのは、学校の状況がうまく保護者へ伝わっていないからではないか。
- ⇒学校で取り組んでいることを積極的に伝えていきたい。
- 学校では、月に1回「なんでもアンケート」を全児童に行っている。保護者の方にも、行事予定でアンケートの実施をお知らせしている。「困っていること」「困っている友達がいるか」等を聞き、自分や友達が困っている場合は、必ず聞き取りを行っている。
- 日頃から、保護者といい関係を築いていきたい。

メディアコントロールチェックについて

- ◆ニュースがメディアかそうでないか、学校で統一されていない。基準がわからない。
- ◆メディアとの付き合い方について、子供と親で目標を決めるが、目標のめやすがわからない。なかなか判断がつきにくいので、学校からめやすを示してほしい。
- ◆子供と親とで、目標をあまり一緒に考えたことがない。
- ⇒どのような目標を立てたらよいかのめやすについて、学校で検討する。

学校からのおたよりについて

- ◆学校からもらったおたよりが、親の手にわたっていないときがあった。おたよりを配付するときに、親に渡すように伝えてほしい。
- ◆特に大事なおたよりは、学校からの声かけをお願いしたい。
- ⇒親に渡すように声かけをする。

その他

- ◆児童・保護者アンケートともに、「学校は楽しいですか」の評価が高いことはとても良いことだ。
- ◆親子読書について、あまりできていなかったが、テトル等での学校からの案内が、取り組むきっかけとなった。
- ◆児童数が減少している。学童も存続してほしい。

アンケート及び学校評議員会・学校関係者委員会では、貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回いただいたご意見は、職員で共通理解し、今後の指導・改善にいかしていきます。